

編集後記：2008年夏はテレビを新調し、大画面で北京オリンピック/パラリンピックを楽しまれた方もおられるのではないのでしょうか。2007年11月より前の気象庁全球予報モデルの東西格子数は640で、アナログ放送の有効解像度程度でした。

「テレビはハイビジョンなのに、天気予報はハイビジョンでなかったってこと？ もったいない」

現在のモデルの東西格子数はフルハイビジョンの横方向の点の数と同じ1920になり（北川「天気」2008年6月号）、天気予報もハイビジョンになりました。もちろん、アナログテレビで見ても、現在の天気予報はハイビジョンです。

「天気」もハイビジョン化が進んでいます。PDFは2006年1月号から600 dpi（以前は400 dpi）になりました。用紙は2007年1月号から全ページマット紙に変更され、図の微妙な濃淡が表現できるようになりました。高解像度の図はより鮮明になったのですが、発表用のスライドに用いたものやウェブから拝借したものなど低解像度の図は粗さが目立つようになりました。『天気』はPDFも紙もハイビジョンなのに、図はハイビジョンでなかったってこと？ もったいない」とならぬよう著者の皆様には、印刷用にできるだけ鮮明な図を用意していただくようお願いいたします。

（榎本 剛）